

やくぶそく【役不足】

「このたび委員長を仰せつかりました。役不足ですが精いっぱい努めたく存じます」

〈尊大〉与えられた役目が力量に比べ軽すぎる。役目が重すぎる意に誤解して就任の挨拶などで使うと、「こんな仕事は自分にはふさわしくない」と不満をこぼすことになってしまう。

🔥 言いかえ

大役 「私には大役ですが、心して臨みたいと思います」

力不足 「力不足ですが、精進いたします」

不束 「不束ながら、お手伝いいたします」

や

やくぶそーやしん

やけに

「やけに背の高い人だ」

〈非難〉程度が甚だしいことを、普通それが好ましくないという視点から言う。その理由や影響を危ぶむ気持ちで使うこともある。

🔥 ほかの無礼語

嫌に (P.27)・妙に (P.196)・やら (P.208)

やしん【野心】

「誰もが難しいと思うようなことに挑戦するなんて、野心にあふれていますね」

〈揶揄〉もとは、服従せず、害をなそうとする心、謀反をたくらむ心を言った。今は現状

に満足せず挑戦する気持ちを指して肯定的に使われる場合も多い。ただ、「身の程知らず」のニュアンスは残っているから、場面によっては失礼な感じに響く。

🔥 言いかえ

希望 「希望を胸に入学式へ向かう」

夢 「長年の夢がかなった」

理想 「大きな家に住むのが理想だ」

志 「小説家になりたいという志を抱く」

大志 「大志を抱いて入社する」

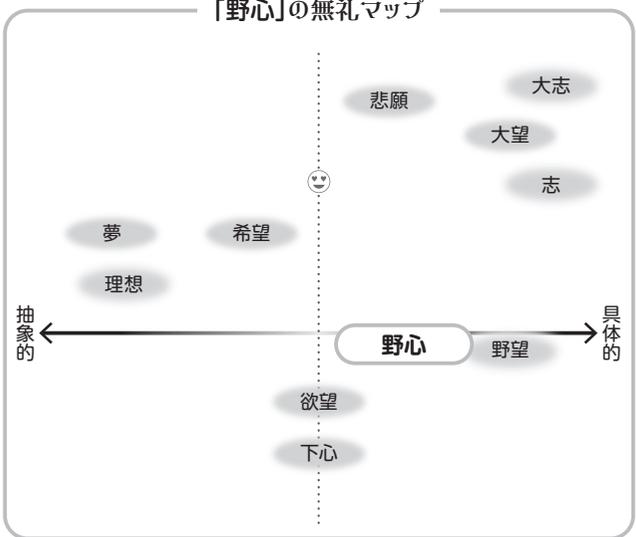
大望 「大望を抱いて海外へ進出する」

悲願 「悲願の優勝を果たす」▼どうしても成し遂げたいと思う悲壮な願い。

🔥 ほかの無礼語

下心・野望 (P.211)・欲望

「野心」の無礼マップ



や

やしん